

大会ルール(形試合)

トーナメント・フラッグ方式

クラス	予選	決勝
幼児の部	自由形(同形可)	得意形(予選同形可)
小学生	平安・ピンアン初～5段、撃砕1・2	
中学生	(同形可)	
高校生	第1・第2指定形(同形可)	得意形(予選同形可)
一般有級者	基本形、第1・第2指定形(同形可)	
一般有段者	第1・第2指定形(同形可)	

注1. 各コートにおいて**決勝戦**まで行い、全ての試合で**2名同時**に行う。

注2. 試合スタートの**笛は全試合**で使用する。

注3. 斜め入場にて、判定はコート外で行う。

大会ルール(組手試合)

★全日本空手道連盟競技規定、審判規定及び春日部市空手道連盟申し合わせ事項によって行う。

《試合時間》 ※男女共通

クラス	時間	ポイント
幼児の部～中学生の部	正味1分00秒	4ポイント差
高校生の部～有段者の部	正味1分30秒	5ポイント差
シニアの部		

注1. **倒し技禁止(足払い)**は問題なし)

注2. **10セコンドルール**を採用します。

注3. 各コートにおいて**決勝戦**まで行う。

《安全具》 ※全空連検定品は下記の通り着用する。

クラス	メンホー	拳サポーター	ボディープロテクター	セーフティーカップ	シンガード	インステップガード
幼児の部	○	○	任意	任意	任意	任意
小学1～2年の部	○	○	○	任意	任意	任意
小学3～6年の部	○	○	○	○	任意	任意
中学生の部	○	○	○	○	任意	任意
高校生の部	○	○	○	○	○	○
有級・有段者の部	○	○	○	○	○	○

※ 拳サポーターは全種目、**赤・青**を用意すること、但し幼児・小学生はリバーシブル使用可。

※ 傷害処置対応について、参加する選手は、スポーツ傷害保険に加入していること。

出場選手が競技中に負傷した場合は、応急処置はするが、その後の責任は負わない。

大会ルール(防具付組手)

★全日本硬式空手道連盟審判規定及び春日部市空手道連盟申し合わせ事項によって行う。

《試合時間》 ※男女共通

クラス	時間	延長戦	試合
小学生・中学生	1分30秒	再延長戦まで1分	1本勝負
高校生・一般	2分	再延長戦まで1分30秒	

※ 勝負は**1本勝ち**、または**判定**、或いは**反則**、**失格**等により決定する。

《判定基準》

- ① 当身技のみで打倒した場合
- ② 3連続技が確実に決まった場合
- ③ 相手と5ポイントの差が生じた場合
- ④ 打撃技のダメージにより足がふらついている場合
以上の場合を1本と致します。
- ⑤ 以上に示した1本に近い攻撃で残心を示した場合は、技ありとして1ポイントが与えられる。
なお、上段蹴りにおいては2ポイントが与えられる。

※場外注意

コートから足が1足分出た時点で場外とする。1度目から『場外注意』となり、に 1ポイントが与えられる。

なお、本戦で記録された「場外」は、延長戦ではクリアされる。

《禁止事項》

- ① 安全防具以外への直接加撃
- ② 転倒者への直接加撃
- ③ ローキック
- ④ 相手をつかんでの攻撃
- ⑤ 投げ技
- ⑥ バックハンド
- ⑦ 関節技
- ⑧ 極端な場外逃避
- ⑨ 挑発的な言動
- ⑩ 技を極めた後、故意にコート内を逃げ回る行為及び故意のクリンチ、また自ら転倒して相手に攻撃をさせない行為

※ これらは全て禁止事項。これらの行為を犯した時は反則注意を宣せられ相手方に 1ポイントが与えられる。

反則注意を受けた後、さらにこれらの行為を犯した時は反則負けになる。

※ 傷害処置対応について、参加する選手は、スポーツ傷害保険に加入していること。

出場選手が競技中に負傷した場合は、応急処置はするが、その後の責任は負わない。